

舞鶴赤レンガパーク

舞鶴赤レンガパークは、舞鶴の港にある海軍の兵器庫を再利用した建物です。元の 12 のレンガ倉庫のうちの 8 つは日本の重要文化財に指定されており、また 5 つは現在一般公開されています。

この赤レンガ倉庫は 1901 年～1921 年にかけて、当時的大日本帝国海軍が 4 つの主要な海軍基地の 1 つを舞鶴に設立した時に建設されました。これらの建物は、この時期に起こった急速な近代化の象徴だったのです。そして第二次世界大戦が終わり、軍事目的で使用されていた建物の多くは後に民間企業の倉庫となりました。

今でも、当時の名残を伝統的な建築様式の中に見ることができます。空襲時に攻撃されないように建物は黒でカモフラージュされていたため、一部の建物の基礎部分には今でも黒いペンキが残っています。また 5 号館には、魚雷を倉庫の端まで運ぶために使用された巨大なクレーンがあります。これまでに多くの歴史ドラマや映画が、この場所で撮影されてきました。

それぞれの倉庫には若干の違いがあります。その中にはちょっとした博物館、カフェ、レストラン、スタジオ、お土産屋さんなどがあります。現在、バザーや展示会、結婚式などが行われるイベントホールとなっている最大の倉庫は、約 50 万個のレンガで作られています。1 号館の中には赤レンガ博物館もあり、ここでは世界中のレンガや、レンガの製造とレンガ積みの技術が展示されています。